

21049 障害心理学 Disorder Psychology		2 年次～ 前期 2 単位	
担当者	望月 珠美	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	心理(W)
サブタイトル	確かな理解に基づいた支援のために		
授業内容 ねらい	<p>「障害」と「私」。「障害児・者」と「私」。家族として、パートナーや恋人として、友人として、隣人として、あるいは当事者として…。障害や障害児・者と私たちの生活は深くかかわっています。にもかかわらず、それらについての知識や理解は十分とは言えません。多くの誤解や偏見あります。そして、それらが障害児・者の自己実現や自己表現の妨げとなっていることが少なくありません。さらには、心理や教育、生活相談等の専門職としてその支援にかかわる中にも誤解や偏見、誤った理解があるために利用者やクライアントの可能性や発達、自立を妨げかねないことがあります。</p> <p>この講義では、障害とは何か、心理学や社会福祉学に関する基礎知識を土台として障害児・者の言動にみられるさまざまな特性を心理学の視点から明らかにしていきます。そして、障害についての適切な理解をもとに、将来、心理、教育あるいは福祉の専門職等に就く者として障害児・者の自己実現や自己表現の支援に心理学の学びを活かしながら携わることができるようになることをめざします。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 障害児・者の心理の理解にあたって 3. 障害とは何か 4. 障害観の形成とその背景 5. 障害をめぐる社会の動き 6. 視覚障害の心理 7. 聴覚障害の心理 8. 運動障害の心理 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 内部障害の心理 10. その他の障害の心理（1） 11. その他の障害の心理（2） 12. 障害の受容と自己実現 13. 差別と偏見の心理 14. 共生の心理 15. まとめ <p>（順番は前後することがあります）</p>	
教科書 参考書	講義時間内に適宜、紹介します。		
評価方法	授業への参加態度（30%）、小レポートあるいは提出物（4回程度）（40%）、学期末試験もしくは期末レポートの結果（30%）から総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等			